

科目	国際コミュニケーション(中国語) (Chinese for International Communication)		
担当教員	牛根 靖裕 非常勤講師		
対象学年等	応用化学科・4年・通年・選択・2単位【講義】(学修単位I)		
学習・教育目標	D2(100%)		
授業の概要と方針	現代中国語(標準語)の発音と基礎的文法を、発音・読解・作文の演習を通じて学習する。受講者の教授内容に対する理解をはかる評価対象として、中間・定期試験に加え、随時課す課外の課題を含む演習での取り組みも重視する。		
	到達目標	達成度	到達目標別の評価方法と基準
1	【D2】現代中国語の発音とそのピンインによる表記法を習得する。		現代中国語の発音とそのピンインによる表記法を講義中の演習(発音練習)によって評価する。
2	【D2】現代中国語の漢字(簡体字)の中でも、比較的使用頻度の高いものの書き方を習得する。		現代中国語の漢字(簡体字)の書き方を演習(短文読解・作文・小テスト・課題)によって評価する。
3	【D2】現代中国語の簡単な文法知識を習得する。		現代中国語の簡単な文法知識を演習(短文読解・作文・小テスト・課題・口頭発表)および中間試験、定期試験によって評価する。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験60% 演習(発音、読解、作文、小テスト、課題、口頭発表)40% として評価する。試験成績は中間試験、定期試験の平均点。演習では授業内での暗誦および小テストも課す(複数回)。コミュニケーション能力の養成を重視するため、試験以外の評価を40%とする。試験・演習の評価を総合し、100点満点60点以上を合格とする。		
テキスト	陳淑梅・劉渴氷『初めての異文化おもしろ体験 初級中国語』(朝日出版社, 2025年)		
参考書	相原茂[編著]『新装版 はじめての中国語学習辞典』(朝日出版社, 2021年) 相原茂・石田知子・戸沼市子[著]『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』(同学社, 2016年再版) 相原茂・喜多山幸子・魯曉琨[著]『大事なことはみんなやさしい中国語で言える』(朝日出版社, 2001年)		
関連科目	ドイツ語, 韓国語		
履修上の注意事項	現代中国語の学習を通じ、中国の文化・社会に対する関心を深める。受講者には講義の予習・演習・復習への自主的な取り組みが求められる。辞書を購入する場合は、講師からは『新装版 はじめての中国語学習辞典』(相原茂[編著], 朝日出版社, 2021年)を推薦する。		

授業計画(国際コミュニケーション(中国語))

	テーマ	内容(目標・準備など)
1	講義概要の説明 第1課 発音練習(1)	本講義の方針・目標・内容・評価方法の説明,および同説明に関する質疑応答などの後,中国語の声調,発音記号(ピンイン)の表記法を学習する。
2	第2課 発音練習(2)	中国語の単母音・複母音,声調の表記法を学習する。現代中国(中華人民共和国)で公用文字とされている簡略字「簡体字」についても触れる。
3	第3課 発音練習(3),第4課 発音練習(4)	中国語の子音の発声法,母音をとまなう発音,母音表記の変化,鼻音(-n,-ng)を伴う母音,r化の発音練習を行なう。
4	第5課 動詞“是”,助詞“的”,名前言い方,尋ね方	動詞“是”,助詞“的”を用いた現代中国語の基本構文と,人名に関する表現を学習する。
5	第5課 初対面の自己紹介,定着度チェック	現代中国語で自己紹介をする文章を用いて,現代中国語の語法の基本を学習する。
6	第6課 年齢の言い方,年月日の言い方,反復疑問文,疑問詞疑問文	年齢や年月日など数字を用いる基本表現,反復疑問文や疑問詞の使い方学習する。
7	第6課 生年に関する表現,定着度チェック	練習問題を用いて,基本表現の確認を行なう。
8	中間試験	第1週から第7週までの内容について試験を行う。
9	中間試験の解答とまとめ,第7課 存在動詞“有”・“在”,選択疑問文	中間試験の内容について解説する。中国語の存在を表す動詞表現,複数の選択肢を挙げる尋ね方を学習する。
10	第7課 家族の話 定着度チェック	存在を表す動詞表現の練習を行なう。
11	第8課 形容詞述語文,動詞“喜欢”,連動文	形容詞を用いる基本表現,連動文などの頻用表現を学習する。
12	第8課 バンダを見に行こう,定着度チェック	自身の興味あるものに関する表現を用い,練習問題に取り組む。
13	第9課 助動詞“想”・“要”,量詞,100以上の数字	願望・意欲を表す助動詞,名詞の数量表現に用いる量詞などを学ぶ。
14	第9課 購買に関する表現,定着度チェック	桁の大きな数字や量詞を用い,練習問題に取り組む。前期に扱った現代中国語の基本語法について,復習・確認を行う。
15	総合復習	中間試験以降の講義での学習内容について,復習・確認を行う。
16	前期学習内容の復習,第10課 動作の進行“在”,状態の変化の表現 “了”	前期学習内容について,復習・確認を行う。動作の状態を表す表現を学習する。
17	第10課 時刻・時点の表現,定着度チェック	時刻や動詞の発生する時間(時点),動作の進行,状態の変化に関する文章を練習する。
18	第11課 動詞“要”・“来”の用法,比較表現,動詞の重ね型	日常会話の中で常用する比較を表す表現,「～をください」,「ちょっと～してみる」という表現を学習する。
19	第11課 中国語で料理を注文する,定着度チェック	料理店で注文する状況でのさまざまな表現を練習する。
20	第12課 動態助詞“-了”・“-过”,副詞“有点儿”と量詞“一点儿”の用法	動作の実現・完成を表す助詞“了”,経験を表す助詞“过”,誤用しやすい副詞“有点儿”と量詞“一点儿”の使い方を学習する。
21	第12課 完了した動作を表す2つの“了”,定着度チェック	動作の実現・実現を表す動態助詞“了”,状態の変化の完了・発生を表す語気助詞“了”の使い方を学ぶ。
22	第13課 助動詞“可以”,前置詞,時間量	中国語における前置詞フレーズ,動作の実行時間の長さの表現を学習する。
23	中間試験	第17回から第22回までの講義での学習内容の習得状況を,筆記試験により確認する。
24	中間試験の解説,第14課 結果補語	中間試験の問題,解答の確認を行い,内容について解説する。結果補語の表現を学ぶ。
25	第14課 助動詞“会”・“能”,様態補語,定着度チェック	「～することができる」という可能の表現,動作・行為の様子を描写する様態補語を学習する。
26	第15課 方向補語,使役表現	人や物の移動の方向を表す方向補語,様々な使役表現を学ぶ。
27	第15課 可能補語,定着度チェック	動作が実現可能かどうかを表す可能補語を学習する。
28	第16課 受身表現,禁止表現	中国語の受身表現や禁止表現を学習する。
29	第16課 “是……的”構文,定着度チェック	すでに起こった事柄の具体的な状況を強調する構文を学ぶ。
30	総合復習	中間試験以降の文法,語法について,復習・確認を行う。
備考	前期,後期ともに中間試験および定期試験を実施する。	